

2020年12月25日

新情報一覧

情報は2020年12月25日現在のものです。状況により内容や日程が変更される場合があります。

2020

- 1月 創作集団「ラ・マシーヌ」による新アトラクション「ドラゴン・オブ・カレー」が登場
- 6月10日 ボルドーのデジタル美術館「バッサン・ド・リュミエール」がオープン
- 6月14日 アステリクス・パーク内に4つ星ホテル「レ・ケ・ド・リュテス」がオープン
- 6月18日 世界最大の都市型ファームがパリ、ポルト・ド・ヴェルサイユ見本市会場に誕生
- 9月（2020） - 9月（2021）
リール・メトロポールが2020年世界デザイン首都に
- 10月1日 パリのガリエラ・モード博物館が改装オープン
- 10月17日 オービュッソン国際タペストリーセンターが宮崎駿の世界をタペストリーとして制作、展示コーナーオープン
- 11月8日 単独無寄港無補給による世界一周ヨットレース「第9回ヴァンデ・グロブ」がレ・サブル・ドロヌヌをスタート
日本から白石康次郎選手が出場。
- 12月19日 フォントヴロー修道院に近代美術館がオープン

2021

- 1月23日 ピノコレクションの美術館「ブルス・ド・コムルス」オープン。安藤忠雄が歴史建築への改修を手掛ける。
- 1月 第9回ヴァンデ・グロブの選手がレ・サブル・ドロヌヌに帰港
- 2月 ナルボンヌに考古学博物館「ナルボ・ヴィア」がオープン
- 2月6日 パリに新たな文化施設「フォンダシオン・ベルノー・リカール」がオープン
- 2月 「ラ・サマリテーヌ」デパートがリニューアルオープン
- 2月 ヴェルサイユ宮殿にホテル「エレル・シャトー・ド・ヴェルサイユ、ル・グラン・コントロール」がオープン
- 3月 ドーヴィルの修道院跡に文化施設「レ・フランシスケーヌ」がオープン
- 3月26日 ビアリッツの「オテル・デュ・パレ」が再オープン
- 4月13日 パリに「オテル・ド・ラ・マリーヌ（海軍館）」がオープン
- 4月28日～8月22日
サン・テティエンヌ国際デザインビエンナーレ
- 4月 ラ・プラーニュに恐竜の足跡が見られる見学施設「ディノプラーニュ」がオープン
- 5月5日-10月18日
マルセイユの欧州地中海文明博物館 MuCEMでジェフ・クーンズ展
- 春 カブルにてマルセル・ブルースト記念館がオープン
- 春 マルセイユにフランス発の海中博物館がオープン
- 春 アルルのフォンダシオン・リュマに「ゲリー・タワー」がオープン
- 春 パリ西部にホテル「ドメヌ・ド・フォントニール」がオープン
- 春 デイジョンに「アロフト・ホテル」のフランス一号店がオープン
- 春 ロッシュフォールで幻想的なナイトショー「オセアナ・ルミナ」開催
- 6月17-20日 ボルドー・ワイン祭り

- 6月26-27日 フランス初のグラベルバイクのレース「ネイチャー・イズ・バイク」開催
- 6月 パリ・フード・フォーラム
- 7月9-25日 第60回ジュアン・レ・パン ジャズフェスティバル
- 8月6-15日 第50回ロリアン国際ケルト音楽祭
- 夏 フランス初の「ソーホー・ハウス」がオープン
- 9月18日-10月3日
クリストによる凱旋門のラッピングアート
- 2021 ノージカ海洋センター水族館の30周年記念
- 2021 ギュスタヴ・フロベール生誕200周年
- 2021 パリにヨーロッパ最大のフードコート「フード・ソサイエティ」がオープン
- 2021 パリにシャネルの「メチエ・ダール」アトリエがオープン
- 2021 パリ、シャン・ド・マルスにグラン・パレが仮移設
- 2021 フィリップ・スタルクが手掛ける都市型レジデンス「モブ・ハウス・パリ・レ・ピュス」がオープン
- 2021 フランス初となる「ブルガリ・ホテル」がパリにオープン
- 2021 パリのラ・サマリテーヌ・デパート内に、ホテル「シュヴァル・ブラン」がオープン
- 2021 メッスにフィリップ・スタルク設計のホテル「メゾン・エレール」がオープン

2020

THE DRAGON OF CALAIS, A NEW ADDITION TO LA MACHINE COMPANY Calais, Hauts-de-France

創作集団ラ・マシーヌによる新アトラクション「ドラゴン・オブ・カレー」が登場
カレー/オー・ド・フランス地方

2020年1月（オープン済）

地底から解き放たれたドラゴンがカレー市内を目指します。この巨大ドラゴンは機械仕掛けの巨大な生物を創作するラ・マシーヌ・ド・ナント La Machine de Nantesが設計し、そのカンパニーが制作したものです。人々を乗せて街の中や海辺を移動します。2023年までに、その他の想像上の生物もカレーにお目見えし、街の雰囲気独特なものにすることでしょう。常設されるこのドラゴンは高さ15メートルで、一度に60人の人を乗せることができます。

www.lamachine.fr/en/le-dragon-de-calais/
<https://compagniedudragon.com/>

FOLLOWING THE ATELIER DES LUMIÈRES IN PARIS, THE BASSINS DE LUMIÈRES IN BORDEAUX

Bordeaux / Nouvelle Aquitaine

パリの「アトリエ・デ・リュミエール」に続き

ボルドーに新たなデジタル美術館「バスサン・ド・リュミエール」がオープン

ボルドー / ヌーヴェル・アキテーヌ地方

2020年6月10日（オープン済）

パリのデジタルアートセンター「アトリエ・デ・リュミエール Atelier des Lumières」とそのオープニングを飾るクリムト展の大成功を受けて、ボルドー市はキュルチュールエスパス Culturespaces社に旧潜水艦基地の再生企画運営を委託しました。第二次世界大戦の遺構であるこの基地はバスサン・ア・フロ Bassins à Flot地区のシンボリックな存在で、その掩蔽壕（バンカー）はパリのアトリエ・デ・リュミエールの5倍もの広さがあります。総面積1万1000平方メートル、一部のエリアは天井高12メートル、長さ100メートル、幅22メートルにもおよび、マルチメディアのインスタレーションとしては世界最大級のものであります。バスサン・ド・リュミエールは今後この巨大な潜水艦基地の建物を活かした様々なデジタル美術展を展開して行きます。2021年2月から2021年1月にかけてはモネ、ルノワール、シャガールの3巨匠をテーマにした美術展が予定されています。

www.culturespaces.com/en/bassins-lumieres

LES QUAIS DE LUTECÉ

Parc Astérix, Hauts-de-France

人気テーマパークに四つ星ホテル「レ・ケ・ド・リュテス」がオープン

アステリクス・パーク/ オー・ド・フランス地方

2020年6月14日（オープン済）

パリ近郊の「アステリクス・パーク Parc Astérix」は、紀元前50年のガリア・ローマ時代を描いた人気コミック「アステリクスとオベリスク」の世界を表したテーマパーク。ここに初の4つ星ホテルが誕

生しました。コミックの主人公たちが活躍したリュテシアの街（現代のパリの祖となるガリア都市）へタイムスリップさせてくれます。

www.parcasterix.fr/en

THE WORLD'S LARGEST URBAN FARM Paris, Île-de-France

パリに世界最大の都市型ファームが誕生

パリ / イル・ド・フランス地方

2020年6月18日 (オープン済)

パリはこのほど世界最大の都市型農場を持つこととなりました。ポルト・ド・ヴェルサイユ見本市会場Paris Expo Porte de Versailles屋上の約1, 4ヘクタールのスペースが農場に生まれ変わったのです。試算ではここで毎日1000個の野菜果物が収穫されるほか、30種の植物が栽培されます。また一般向けのワークショップを開催し、地元の人々が自身で果物や野菜、ハーブを育てられる貸菜園の区画も用意されます。パリ市内各地にトレンディな屋上空間を展開するグループ、ル・ペルショワールLe Perchoirの屋上レストラン&バーでは、この農場で採れた産物を使ったメニューが提供されます。

<https://leperchoir.fr/en/location/le-perchoir-porte-de-versailles/>

LILLE METROPOLE: 2020 WORLD DESIGN CAPITAL Lille, Hauts-de-France

リール・メトロポールが世界デザイン首都2020に

リール / オー・ド・フランス地方

2020年9月から2021年9月 (変更後の日程)

世界デザイン首都The World Design Capital (WDC)とは、革新的なデザインを活用して経済的、社会的、文化的、また環境保護的な発展を遂げている都市が2年に1回選出されるもので、世界デザイン機構World Design Organisationが実施しています。世界デザイン首都は、デザインが牽引する都市政策とさまざまな分野における革新を最も好ましい形で実践している見本となります。その革新がおよぶ分野は、公共交通機関、持続可能なインフラ、人口の変遷、バリアフリー、再生可能なエネルギー、包括的なガバナンスなど多岐にわたります。2018年のメキシコシティに続き、2020年は北フランスのリール都市圏（リール・メトロポールLille Metropole）がフランス初の世界デザイン首都となります。プログラムは2020年9月から2021年9月まで。

www.lillemetropoleworlddesigncapital2020.com

REOPENING OF PALAIS GALLIERA, HOME TO THE FIRST PERMANENT FASHION EXHIBITION IN FRANCE

Museum renovation and new permanent exhibition Paris, Île-de-France

パレ・ガリエラ再開、フランス初の常設ファッション博物館に

パリ/ イル・ド・フランス地方

2020年10月1日 (オープン済)

パリのパレ・ガリエラPalais Gallieraモード博物館は4年にわたる改装工事を終えてこのほど再開しました。フランス初の常設ファッション展の場として2020年に再開したこの博物館はシャネルChanelが単独スポンサーとなっています。シャネルがパリ市と提携して常設展示室とギャラリーの建設費用、推定570万ユーロを提供しました。これらのスペースはガブリエル・シャネル展示室とよばれることに

なります。これらはパレ・ガリエラ地下の670平方メートルのスペースにあり、今後は年間を通じて一般公開され、18世紀から今日に至るファッションの歴史をたどることができます。今回のプロジェクトには学習ワークショップとブックストアの創設も含まれています。一方、博物館の1階は従来通り、各種企画展の会場となる予定です。

www.palaisgalliera.paris.fr/en/cp-dp-visuels/reopening-palais-galliera-press-kit

L'IMAGINAIRE DE HAYAO MIYAZAKI EN TAPISSERIE D'AUBUSSON EXPOSITON DE LA CITÉ INTERNATIONALE DE LA TAPISSERIE

Aubusson / Nouvelle Aquitaine

Du 17 Octobre 2020 au 31 Décembre 2023

オービュッソン・タペストリーによる宮崎駿の世界

国際タペストリーセンターで新作タピスリーの製作と展示

オービュッソン/ヌーヴェル・アキテーヌ地方

2020年10月17日～2023年12月31日

オービュッソンの国際タペストリーセンターCité internationale de la tapisserie はユネスコ無形文化遺産に登録されているタペストリー工芸の歴史と技術を現在に伝承する博物館でありと同時に、現代的なテーマを扱う新作の製作にも力を入れています。2017年に英国人作家J.R.R. トールキンの挿絵をタペストリーに織り上げるプロジェクトが成功したのを受け、次のコラボレーション作家として選ばれたのが、アニメーション界の巨匠、宮崎駿です。『もののけ姫』、『千と千尋の神隠し』、『ハウルの動く城』、『風の谷のナウシカ』と、代表的作品より5つの場面が選ばれタペストリーとして制作されます。既に10月17日より同プロジェクトを扱う展示コーナーがオープンしており、映画の場面上映や、製作工程が解説されています。第1点目として制作される『もののけ姫』の一場面は2021年3月より織り始められ、シリーズ全部の製作が終了するのは2023年末とされています。同センターのガイドにより作業工程も見学できます。

www.cite-tapisserie.fr

国際タペストリーセンターについての動画（日本語字幕付き）：<https://youtu.be/v4DliMEmLA8>

製作についての動画（英語字幕付き）：<https://youtu.be/VPI5fS4HEq>

THE 9TH VENDÉE GLOBE SETS SAIL

Les Sables-d'Olonne, Pays de la Loire

第9回ヴァンデ・グローブヨットレースが出発

レ・サーブル・ドロヌ / ペイ・ド・ラ・ロワール地方

2020年11月8日（続行中）

世界で最も苛酷な単独無寄港世界一周ヨットレース「ヴァンデ・グローブVendée Globe」が去る11月8日、レ・サーブル・ドロヌLes Sables-d'Olonneの港を出発しました。日本からは白石康次郎選手が参戦しています。

www.vendeeglobe.org/en/

A MODERN ART MUSEUM AT FONTEVRAUD

New museum

Fontevraud-l'Abbaye, Pays de la Loire

フォントヴローに近代美術館

フォントヴロー・ラベイ / ペイ・ド・ラ・ロワール地方

2020年12月19日 (6月から延期)

ペイ・ド・ラ・ロワール地方のフォントヴロー修道院Abbaye de Fontevraudでは、このほどレオン & マルティエヌ・クリグマン夫妻Martine and Léon Cligmanの個人蔵コレクションから多大な寄贈を受け、新たな近代美術館をオープンしました。コロ、デュビュッフエ、ドガ、トゥールーズ=ロートレック、ドラン、ドローネーを含む19世紀から20世紀の作品が展示されることとなります。ドミニク・ガニューDominique Gagneux館長のもとにオープンした美術館はもとは「ファヌリーFannerie」の名で知られる修道院の厩舎で、フランス文化省から「ミュゼ・ド・フランスMusée de France」のラベルを受ける予定です。フランス最大の修道院建築群であるフォントヴローの墓所には、ヘンリー2世Henry II、リチャード獅子心王Richard Coeur de Lion、アリエノール・ダキテーヌAliénor d'Aquitaineの3人の英国王族が眠り、現在は文化センターになっています。敷地内のホテルにはミシュランの星付きレストランがあり、宿泊客は終夜修道院に出入りできます。

www.fontevraud.fr/en/

2021

CULTURAL SITES, EVENTS & EXHIBITIONS

文化施設、イベント、展覧会

COLLECTION PINAULT PARIS – BOURSE DE COMMERCE

New museum
Paris, Île-de-France

パリ商品取引所（ブルス・ド・コメルス）にピノーコレクションの美術館がオープン
パリ / イル・ド・フランス地方

2021年1月23日（2020年から延期）

フランスの富豪で現代アート収集家のフランソワ・ピノーFrançois Pinaultが、そのコレクションを披露すべくパリの新しいホットスポットを引き継ぎました。パリ中心部に位置するブルス・ド・コメルスBourse de Commerce（旧商品取引所）が、今後ピノーコレクションの新たな展示場所となるのです。歴史的建造物の内部は日本の建築家、安藤忠雄の手により全面的に修復・改装されてオーディトリウムと3000平方メートルの現代アート展示スペースを有する美術館に生まれ変わります。また美術館内にオープンするレストランのシェフはかの有名なミシェル・ブラスMichel Brasです。

www.boursedecommerce.fr/en/

NARBO VIA, A NEW ANTIQUE MUSEUM

New museum Narbonne, Occitanie

ナルボ・ヴィア、新しい考古学博物館がオープン
ナルボンヌ / オクシタニー地方

2021年2月（2020年12月から延期）

古代ローマの重要な港であった南仏ナルボンヌNarbonneに新たなランドマーク「ナルボ・ヴィア Narbo Via」が誕生します。デザインを手がけたのはフォスター+パートナーズ社Foster+Partnersのノーマン・フォスターNorman Foster。同社は2018年6月にオープンしたニームの古代ローマ博物館Musée de la Romanitéも担当しています。総面積8000平方メートルの新博物館にはナルボンヌ市の貴重な考古学コレクションが納められ、2万5000点にのぼる古代の遺産が展示されます。ナルボ・ヴィアは現在進行中の現代建築プロジェクトの最も重要なもののひとつで、目を見張るほど軽やかな骨組みと透明な波打つ正面壁が特徴となっています。

www.fosterandpartners.com/projects/narbo-via

FONDATION PERNOD RICARD

New cultural site
Paris, Île-de-France

新しい文化施設「フォンダシオン・ペルノー・リカール」がオープン
パリ / イル・ド・フランス地方

2021年2月6日

新たな施設、新たな野心、新たな芸術的出会い…。ペルノー・リカール財団Fondation Pernod

Ricardは従来にも増してフランスの若い現代アートシーンをサポートし、ひとりでも多くの人々がそれに親しんでもらえるよう努力して行きます。この新しい多目的スペースの企画を手がけたのは建築家のニネ&マルカNeM / Niney & Marca Architectesで、場所はポール・リカール広場1番地 1 Cours Paul Ricard、パリの中心部サン・ラザール駅Saint-Lazareにほど近いペルノー・リカール本社新社屋の最前列です。内部は中心となる300平方メートルの展覧会スペース、130席のオーディトリウムのほか、各種パフォーマンスや1回限りのインスタレーションなどに使用できるモジュール式のロビーがあります。カフェ・ミレットCafé Miretteはすべてのアート愛好家を温かく迎えてくれる出会いの場です。このスペースはポール・リカール社の中庭に面した広いテラスに通じており、誰でもアクセスできます。

<https://www.fondation-pernod-ricard.com/en>

LES FRANCISCAINES

New cultural site in a former convent Deauville, Normandy

レ・フランシスケーヌ

修道院跡に新たな文化施設が誕生

ドーヴィル / ノルマンディー地方

2021年3月

その名が示すようにこの美しい建物は以前フランシスコ修道会のものでした。2012年にドーヴィル市Deauvilleに売却されて以後、すっかり改装されて5つのゾーン（うちひとつは子供向け）に区切られ、美術館、オーディトリウム、メディア図書館などが入ります。それら全てはドーヴィルとその歴史に関連したテーマで統一されています。美術館では500点を越える油彩画や現代アート作品をドーヴィル市に寄贈した画家アンドレ・アンブールAndré Hambourgの作品も展示されます。

<https://en.indeauville.fr/Franciscan-project>

HOTEL DE LA MARINE

New museum

Paris, Île-de-France

オテル・ド・ラ・マリーヌ海軍館

パリ/イル・ド・フランス地方

2021年4月オープン（2020年から延期）

パリのオテル・ド・ラ・マリーヌHôtel de la Marine（海軍館）は2021年4月、その200年にわたる歴史上初めて一般に門戸を開きます。訪問客は「信頼できる相談相手」である3D映像や音響効果に伴われて没入形の見学コースを楽しめるのです。見事な家具調度をそなえた豪華な居室や迎賓室をたどって進めば、コンコルド広場Place de la Concordeを見下ろすロジャアにたどり着きます。さまざまな見学オプションがあり、家族向けのものも用意されています。またオテル・ド・ラ・マリーヌの展示ギャラリーは各種企画展の会場となり、カタールのアール・サーニAl Thani コレクション展や一連の文化イベントが予定されています。建築家アンジュ＝ジャック・ガブリエルAnge-Jacques Gabrielの手により1774年に完成して以来、オテル・ド・ラ・マリーヌは王室が所有し、宮廷の家具調度の管理・保管や美術工芸活動の場となって来た歴史があります。

www.hotel-de-la-marine.paris

THE SAINT-ETIENNE INTERNATIONAL DESIGN BIENNAL
Design festival
Saint-Étienne, Auvergne-Rhone-Alpes

サン・テティエンヌ国際デザインビエンナーレ

サン・テティエンヌ / オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方

2021年4月28日～8月22日

サン・テティエンヌSaint-Étienneはデザインとサッカーの町として知られ、サン・テティエンヌ国際デザインビエンナーレBiennale Internationale Design St-Etienneは1998年以来11回連続開催されています。この世界有数のデザイン見本市は、学術的な先進工業デザインの展示会としてデザインの分野における突出した作品を紹介する一方、多くの才能あるアーティストやデザイナーに高レベルの発表と宣伝の場を与えるものでもあります。彼らは工業デザインをテーマとする各種のフォーラムやインタビュー、シンポジウム、芸術的創造の場に招かれ、アートと産業の理想的な結びつきを促進することができるのです。サン・テティエンヌ国際デザインビエンナーレは、全米デザイントリエンナーレやミラノの「デザインの週末」、ロンドンデザインフェスティバルに並ぶ名声を誇っています。

<https://www.biennale-design.com/saint-etienne/2021/> (フランス語のみ)

DINOPLAGNE, A SITE CONTAINING DINOSAUR FOOTPRINTS DISCOVERED IN 2009
La Plagne, Auvergne-Rhone-Alpes

ディノプラーニュ、2009年発見の恐竜の足跡を見られる見学施設

ラ・プラーニュ / オーヴェルニュ・ローヌ・アルプ地方

2021年4月 (2020年から延期)

恐竜の生涯のうち3分間というのはどのくらいに当たるのでしょうか。ディノプラーニュDinoplagneでは、この巨大生物がはるか昔に残した痕跡が訪れる人に彼らの世界を見る心眼を与えてくれます。古生物学をテーマにしたディノプラーニュは世界一長い恐竜の足跡をたどる道。延々と連なる足跡は1億4500万年前の化石です。近くのオヨナ村Oyonnaxから来た地質学者と生物学者が2009年に発見したこれらの足跡は、2021年によろやく一般公開されることとなります。

公式サイトは準備中

JEFF KOONS EXHIBITION AT MUCEM, MARSEILLE
Marseille, Région Sud

マルセイユの欧州地中海文明博物館(MuCEM)でジェフ・クーンズ展

マルセイユ / 南フランス

2021年5月5日～10月18日

アーティストとの密接なコラボによるジェフ・クーンズJeff Koons展がマルセイユの欧州地中海文明博物館 (MuCEM) で開催されます。ピノーコレクションPinault Collectionからの出展により、クーンズの最も有名な作品のいくつかをマルセイユMarseilleで見ることができます。これらの作品とMuCEMの膨大なコレクションから出展の日用品、写真、各種資料との大衆芸術の分野における関係を探るのも一興です。ピノーコレクションから20点の作品が貸し出されたおかげで、彼の代表的作品である彫刻 (1994年から2000年に制作のバルーン・ドッグBalloon Dogや2007年から2012年のロブスターLobster) や絵画 (2002年の「バックヤードBackyard」と2007年の「オランダ人カップルDutch Couple」) に彩られたこの展覧会ではジェフ・クーンの世界にどっぷり浸ることができるでしょう。

www.mucem.org/en

THE MARCEL PROUST MUSEUM
Cabourg, Normandy

マルセル・プルースト記念館
カブール / ノルマンディー地方

2021年春 (2020年から延期)

作家マルセル・プルーストMarcel Proustがあれほど熱望した文学賞「ゴンクール賞Prix Goncourt」を受賞して100年。これを記念してそのお気に入りの保養地であり、代表作「失われた時を求めて」執筆のインスピレーションを得た地であるノルマンディー地方のカブールCabourgに2021年マルセル・プルースト記念館がオープンします。「見出された時の館Villa du Temps Retrouvé」と名づけられた記念館では、プルーストの視点からみた19世紀末のベル・エポック時代やカブールがあるフルーリ海岸Côte Fleurieの歴史をたどることができます。

www.cabourg-tourisme.fr/en

FRANCE'S FIRST UNDERWATER MUSEUM
Marseille, Région Sud

フランス初の海中美術館
マルセイユ / 南フランス

2021年春

都会の芸術愛好家グループがマルセイユ海中美術館Musée Subaquatique de Marseilleの構想を思いつきました。カタラン湾Anse Catalansの海中に沈めた一連の彫刻作品はダイビングでのみ鑑賞できます。このプロジェクトは2009年にイギリス人アーティストのジェイスン・デカイレス・テイラーJason deCaires Taylorが創設したメキシコのカンクンCancunにあるMUSA美術館にヒントを得たもの。こちらは今では世界中のダイバーを惹きつけています。マルセイユの海中美術館は45の作品でスタートしますが、そのうち15はテイラー自身の作品です。

www.musee-subaquatique.com/fr/ (フランス語のみ)

THE GEHRY TOWER AT FONDATION LUMA
Arles, PACA

フォンドシオン・リュマに「ゲーリータワー」が開館
アルル / プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方

2021年春 (2020年から延期)

建築デザイナーのフランク・ゲーリーFrank Gehryによる目が回るようなねじれた形状のタワーがプロヴァンス地方アルルArlesにあるリュマ文化センターLUMAの6.5ヘクタールの敷地内に姿を現し始めました。タワー内には研究施設、ワークショップ、セミナールーム、アーティストのスタジオなどのスペースが設けられ、様々な機能を果たします。タワーは夏季限定の開館でしたが、リュマ財団の方は今は通年で営業しています。

www.luma-arles.org

OCEANA LUMINA
Rochefort, Nouvelle-Aquitaine

「オセアニア・ルミナ」幻想的なナイトショー
ロシュフォール / ヌーヴェル・アキテーヌ地方

2021年春

オセアニア・ルミナOceana LuminaはロシュフォールRochefortの旧海軍工廠Arsenal を舞台に設定された非常に魅力的な夜の散策コースです。この1時間ほどのウォーキングツアーは、そのドラマチックな舞台が彷彿とさせる幻想の世界へと参加者を誘います。照明や各種インスタレーションによる演出、ビデオ上映、オリジナルサウンドトラックなど多様なデジタルツールを組み合わせる展開される、創意に富み、五感に訴える没入形スペクタクルが、参加者に大航海の感動を実体験させてくれるでしょう。このショーをデザインしたのは高名なカナダの会社モーメント・ファクトリーMoment Factoryです。ヨーロッパ初のツアーは2021年春にスタート。100回を超えるパフォーマンスが予定されています。

www.arsenaldesmers.fr (フランス語のみ)

NATURE IS BIKE: FRANCE'S FIRST EVER GRAVEL BIKE FESTIVAL
Angers, Pays de la Loire

フランス初のグラベルロード専門バイクレース「ネイチャー・イズ・バイク」
アンジェ / ペイ・ド・ラ・ロワール地方

2021年6月26～27日 (2020年から延期)

フランス初のグラベルロード専門バイクレースが2021年夏2日間にわたって川沿いの歴史の街アンジェAngersで開催されます。スポーツと自然に親しむことを目的としたこのイベントでは2つのチャレンジ、64 kmの夜間走行と100 kmの日中コースが用意されています。それに加えて家族での散策、「砂利道エキスポGravel Expo」見本市、環境問題にフォーカスした各種アクティビティのプログラムもあります。アンジェは3つの主要なサイクリングロードが交錯するサイクリングの中心地で、毎年20万人近くの人々が楽しんでいます。

www.natureisbike.com/en

THE ARC DE TRIOMPHE, WRAPPED
Art display
Paris, Île-de-France

凱旋門ラッピングプロジェクト
パリ / イル・ド・フランス地方

2021年9月18日～10月3日(2020年から延期)

フランス国立文化財センターCentre des Monuments Nationaux (CMN)はこのほどパリのポンピドゥーセンターPompidou Centreの協力で「梱包された凱旋門 L'Arc de triomphe, Wrapped」と銘打ったアートディスプレイを実施します。2週間にわたって見ることができるこの作品はブルガリア出身のアーティスト、クリストChristoの構想によるもの。クリストといえばこれまでパリのポン・ヌフ橋やベルリンの国会議事堂をすっぽり包んだり、ニューヨークのセントラルパークに千本鳥居のようなゲートを並べるなどの梱包芸術で知られています。たいへん残念なことにクリストは2020年に亡くなりましたが、凱旋門の梱包のためのこれまでの習作、下絵、コラージュの他、その他の作品の縮小模型や1950年代から60年代の作品、リトグラフが売却されて凱旋門のディスプレイ費用に充当されます。

www.paris-arc-de-triomphe.fr/en/News/The-Arc-de-Triomphe-Wrapped

CHANEL METIERS D'ART WORKSHOP

New cultural site

Porte d'Aubervilliers, Paris, Île-de-France

シャネルのメチエ・ダール・ワークショップ

新しい文化施設

ポルト・ドーベルヴィリエ / パリ イル・ド・フランス地方

日程未定(2020年から延期)

パリの北郊外ポルト・ドーベルヴィリエPorte d'Aubervilliersに完成したこのビルはルディ・リシオッティRudy Ricciottiの構想によるもので面積2万5500平方メートル。シャネルが監督する26の手工芸（メチエ・ダール）の工房が入居することになります。帽子のメゾン・ミッシェルMaison Michel、カシミアのスペシャリスト、バリーBarrie、羽飾りのルマリエLemarié、刺繍のメゾン・ルサージュMaison Lesageなどです。計600名にのぼる手工芸職人たちの仕事場となる建物は、表面を覆うコンクリートの外構が織物の糸を連想させるユニークな作りです。このプロジェクトを通してシャネルはファッションの都パリの影響力に貢献することを目指しています。

公式サイトは準備中。

A TEMPORARY GRAND PALAIS ON THE CHAMPS DE MARS

Temporary pop-up cultural site Paris, Île-de-France

仮設のグラン・パレがシャン・ド・マルスに

パリ / イル・ド・フランス地方

2021～2024

パリのグラン・パレGrand Palaisが、2021年の初めから2024年の秋まで、エッフェル塔の足元のシャン・ド・マルスChamp de Marsに一時移転することになりました。グラン・パレ・エフェメールGrand Palais Ephémère（仮設グラン・パレ）と名づけられたこの新しい建物は建築家ヴィルモットのWilmotte & Associés社が手がけ、面積は1万平方メートル。本家のグラン・パレは改装工事のため2020年夏に一時閉館し、工事期間中はそのすべてのイベントが仮設グラン・パレで開催されます。長期にわたる大規模な改装工事終了後のグラン・パレは、2024年のオリンピック・パラリンピックの会場にもなる予定です。

www.grandpalais.fr/en/constructing-temporary-grand-palais

ANNIVERSARIES

記念行事

60TH ANNIVERSARY OF THE JAZZ A JUAN FESTIVAL

Juan-les-Pins, PACA

第60回ジュアン・ジャズフェスティバル

ジュアン・レ・パン / プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方

2021年7月9～25日 (2020年から延期)

南仏コートダジュールのアンティープ・ジュアン・レ・パンAntibes-Juan-les-Pinsはジャズフェスティバル「ジャズ・ア・ジュアンJazz à Juan」で知られ、2020年は60周年を迎えましたが、第60回の記念フェスティバルは2021年に開催されることになりました。地中海をのぞむ松林の中でジャズを聴くというユニークな体験ゆえこのフェスティバルは世界的な人気を博しています。2021年の60周年スペシャルバージョンは、会期も通常より長く、グレゴリー・ポーターGregory Porter、ハービー・ハンコックHerbie Hancock、ダイアナ・ロスDiana Rossら豪華なラインナップが予定されています。

www.jazzajuan.com/en-us/home.aspx

50TH YEAR OF THE FESTIVAL INTERCELTIQUE DE LORIENT

Lorient, Brittany

第50回ロリアン ケルト音楽祭

ロリアン / ブルターニュ地方

2021年8月6日～15日 (2020年から延期)

ケルト文化の色濃く残る町ロリアンLorientには、毎年夏になるとケルト音楽祭Festival Interceltique. を目指して世界中から70万人前後が押し寄せます。ここでは賑やかで楽しい雰囲気の中、スペインのガリシアGalicia地方から北はスコットランドに至るまで最高レベルのケルト音楽が楽しめます。2021年のイベントやショーの数は200を超え、5000人に上る出演者が音楽祭の50周年を祝います。

www.festival-interceltique.bzh

30TH ANNIVERSARY OF THE NAUSICAA SEA LIFE CENTRE

Boulogne-sur-Mer, Hauts-de-France

ノーシカ水族館開業30周年

ブローニュ・シュル・メール / オー・ド・フランス地方

2021年

英仏海峡を挟んでイギリスとは目と鼻の先にある北フランス、ブローニュ・シュル・メールBoulogne-sur-Merの水族館ノーシカNausicaáは2019年5月に拡張工事を終えてヨーロッパ最大の水族館になりました。オー・ド・フランスHauts-de-France地方の主要な見どころとなった同水族館は2021年に創立30周年を迎え、様々な記念イベントやアクティビティが予定されています。ノーシカは家族向けに最高のデスティネーションであるだけではありません。全ての人に将来にわたって海の命を守り、海洋資源の大切さを知って、どのようにそれを保全して行くかを考えるよう教育し、行動を推奨する役割も担っているのです。

www.nausicaa.co.uk

200TH ANNIVERSARY OF THE BIRTH OF WRITER GUSTAVE FLAUBERT

Normandy

作家ギュスタヴ・フロベールの生誕200年

ノルマンディー地方

2021年

「ボヴァリー夫人」などの作品で知られるギュスタヴ・フロベールGustave Flaubertはフランスで最も有名で影響力のある作家のひとりです。2021年はその生誕200年にあたり、ゆかりの深いノルマンディー地方ではさまざまな記念イベントが予定されています。ルーアンで生まれ作家生活の多くの部分をこの町で過ごしたフロベールは、ノルマンディー地方の歴史にとっては重要人物。生誕200年の2021年は12月に至るまで各種展覧会、演劇、足跡を訪ねる観光コース、フロベール風に脚色したウォーキング、また作家にまつわる学習アクティビティなど多様なプログラムが予定されています。

公式サイトは準備中

FOOD & SHOPPING

食&ショッピング

DEPARTMENT STORE LA SAMARITAINE REOPENS

Paris, Île-de-France

サマリテーヌデパートが再オープン

パリ イル・ド・フランス地方

2021年2月 日程未定 (2020年から延期)

安全上の理由から2005年に閉館となっていたデパート「ラ・サマリテーヌLa Samaritaine」が、このほどようやくLVMH Groupの構想による大改装プロジェクトの結果であるその全貌を現しました。歩行者エリアに囲まれた建物は、ルーヴル河岸通りQuai du Louvreとリヴォリ通りRue de Rivoliに挟まれた2ブロックにわたり、以下のような施設が入る予定です。デパート、72室の5つ星ホテル「シュヴァル・ブランCheval Blanc」（後述「新規開業ホテル」の項参照）、集合住宅、オフィス、託児所。

www.lvmh.com/houses/other-activities/samaritaine

BORDEAUX FETE LE VIN

Bordeaux, Nouvelle-Aquitaine

ボルドーワイン祭り

ボルドー / ニューヴェル・アキテーヌ地方

2021年6月17~20日 (2020年から延期)

ボルドーBordeauxはワインの町。そこで2年に1度開催されるのが4日間のボルドーワイン祭りBordeaux fête le vinです。ボルドーを始めニューヴェル・アキテーヌNouvelle-Aquitaine地方の80種のワインが大集合し、来場者はテイastingを楽しめます。祭りの会場はガロンヌGaronne川のほとりから18世紀の建物が軒を連ねる旧市街まで2キロにもわたり、期間中は毎晩ボルドー商工会議所Palais de la Bourseの正面壁に見事なプロジェクションマッピングが映し出されます。

www.bordeaux-wine-festival.com

THE PARIS FOOD FORUM

Paris, Île-de-France

パリ・フード・フォーラム

パリ / イル・ド・フランス地方

2021年6月 (2020年6月から延期)

エマニュエル・マクロンEmmanuel Macron仏大統領のイニシアティブのもと、パリ・フード・フォーラムParis Food Forumは2021年6月に開催されることになりました。同フォーラムはガストロノミーの将来や私たちの日々の生活に食料が占める位置について話し合う国際シンポジウムです。食に関わるさまざまな人が世界の五大陸から集まり、この分野における共通の課題に対する解決方法を探ります。そこでは環境、健康、社会問題に特に重点が置かれるでしょう。参加する関係者は500人以上、基調演説をするのが100人、マクロン大統領との晩餐会、大規模な農家直送マーケットなど一連のイベントが複数の省のイニシアティブにより開催されます。イベントにはテュイルリー公園Jardin des Tuileriesにおけるインド人アーティスト、スボド・グプタSubodh Guptaの巨大オブジェ展示や、ヴェルサイユ宮殿Château de Versaillesでの食文化に関する展覧会などが含まれます。公式サイトは準備中。

FOOD SOCIETY, EUROPE'S LARGEST FOOD HALL
Paris, Île-de-France

フード・ソサエティ、ヨーロッパ最大のフードコート
パリ/イル・ド・フランス地方

2021年 日程未定

パリのモンパルナス地区にオープンする「アトリエ・ゲテAteliers Gaité」は100を超えるショップやサービス施設を3フロアで展開するショッピングセンターです。他にもレストランやグルメフードのスタンド、すっかり新装成った1000室を有するプルマンホテルPullman hotel、オフィス、住宅、改装された図書館などが入る予定。中でも特筆すべきは総面積5000平方メートルとヨーロッパ最大のフードコートである「フード・ソサエティFood Society」です。公式サイトは準備中。

NEW HOTELS

新規開業、改装オープンのホテル

AIRELLES CHATEAU DE VERSAILLES, LE GRAND CONTROLE Versailles, Paris-Île-de-France

エレル・シャトー・ド・ヴェルサイユ、ル・グラン・コントロール

5ツ星認定予定

2021年2月 日程未定(2020年から延期)

LOV Groupの高級ホテルブランド「エレル・コレクションAirelles Collection」に新たな1軒が加わります。パリ近郊ヴェルサイユにオープンする「エレル シャトー・ド・ヴェルサイユ ル・グラン・コントロールAirelles Château de Versailles, Le Grand Contrôle」です。この23室の豪華ホテルはアンデパンダンス・アメリカーヌ通り12番地12 Rue de l'Indépendance Américaineに位置し、グラン・コントロールGrand Contrôle、プチ・コントロールPetit Contrôle、「初めの100段Premières Cent Marches」の3つのヴィラに納まっています。室内からはヴェルサイユ宮殿のオレンジ栽培温室Orangerie、スイス人の泉水Pièce d'Eau des Suisses、アラン・デュカスAlain Ducasseのレストランが見えます。「エレル・コレクション」のホテルとしては他にクルシュヴェルCourchevelのレ・ゼレルLes Airelles、南仏プロヴァンスのラ・バステード・ド・ゴルドLa Bastide de Gordes、ヴァル・ディゼールVal d'Isèreに2019年12月にオープンしたレ・ゼレル・ヴァル・ディゼール・マドモワゼルLes Airelles Val d'Isère Mademoiselleがあります。

<https://airelles.com/en/airelles-collection-properties/>

REOPENING OF HOTEL DU PALAIS BIARRITZ Biarritz, Nouvelle-Aquitaine

ビアリッツのオテル・デュ・パレ新装再開

ビアリッツ / ヌーヴェル・アキテーヌ地方

2021年3月26日

フランスの大西洋岸では唯一「パラスPalace」の格付けを持つオテル・デュ・パレHôtel du Palaisが改装工事を終えてリニューアルオープンします。最高ランクの格付けにふさわしい風格とエレガンスがさらに増した一方、19世紀の一流のデザインと建築のエスプリはしっかり保たれています。もともと皇帝ナポレオン3世Napoleon IIIと后妃ユージェニー・ド・モンティジョEugénie de Montijoの屋敷として1854年に建てられたもので、世界で最も美しいホテルのひとつとされ、「パラスPalace」の認定を受けています。ビアリッツの海辺にその威容を見せる5ツ星ホテルは57のスイートルーム、82の客室をもって再開します。その他8200平方メートルのスパと大きな屋外プールを備え、パノラミックレストランではシェフのオレリアン・ラルジョAurélien Largeauが腕を振ります。

www.hotel-du-palais.com

DOMAINES DE FONTENILLE

Paris-Île-de-France

Five-star expected

ドメーヌ・ド・フォントニュー

パリ / イル・ド・フランス地方

5つ星認定予定

2021年春

パリから1時間足らずで到着できる川のほとり、パリ周辺で最も美しい公園のひとつにある18世紀の貴族の館が30室のホテル「ドメーヌ・ド・フォントニューDomaine de Fontenille」に生まれ変わりました。美食を堪能できるレストランやビストロ、スパも完備しています。ロマンティックな庭園と古典的な建築に囲まれてリラクゼーションには最適の場所となるでしょう。

www.lesdomainesdefontenille.com/en

FRANCE'S FIRST ALOFT HOTEL

Dijon, Burgundy-Franche-Comté

フランス初のアロフトホテル

ディジョン / ブルゴーニュ・フランシュコンテ地方

4つ星認定見込み

2021年春

アロフトAloftブランドのフランス初のホテルがディジョンDijonのグランジエ広場Place Grangierにオープンします。旧郵便局の内部を改装して宿泊施設やアーティストのスタジオとしたもので、明るい吹き抜けのロフトが付いた93室があり、宿泊客や地元の利用者のための各種サービスも備えています。

<https://aloft-hotels.marriott.com/>

THE FIRST SOHO HOUSE HOTEL IN FRANCE

Paris, Île-de-France

フランス初のソーホーハウス

パリ / イル・ド・フランス地方

2021年夏(2020年から延期)

ピガールPigalleといえは昔は売春宿が建ち並ぶ限界でしたが、ここに詩人のジャン・コクトーが住んでいた見栄えのよい歴史ある正面壁の建物があり、壁の内側では35の客室を持つソーホーハウス・パリSoho House Parisがその姿を現しつつあります。デザインは20世紀初頭のボヘミアン全盛期を彷彿とさせるタッチで、低く設置した照明やリッチな質感のインテリアが特徴です。魅力的な中庭や夜遅くに映画を楽しめる豪華な映写室、クラブラウンジを備え、上階の客室はどれひとつとして同じ部屋はありません。また噂によればロワール渓谷Val de Loireのレ・ボルドLes Bordesに農場スタイルのSohoを期待する声もあるのだとか。

www.sohohouse.com

MOB HOUSE PARIS LES PUCES
Saint-Ouen, Paris-Île-de-France

モブ・ハウス・パリ・レ・ピュス
サン・トゥアン / パリ イル・ド・フランス地方

日程未定

モブホテル・パリ・レ・ピュスMOB HOTEL Paris les Pucesの2017年オープンに続き、シリル・アウイゼラトCyril Auizerateが構想し、フィリップ・スタルクPhilippe Starckが内装を手がけた最初のモブハウスMOB HOUSEがパリ北部サン・トゥアンSaint-Ouenのレ・ピュスLes Pucesにオープンします。モブハウスはビジネス客のニーズに合わせ、彼らの創造性を刺激する環境を提供する初めてのホテルとなるはずで、フィリップ・スタルクの手によるインテリアはコージーで好奇心とサプライズに満ちています。ここはユニークな刷新の場であり、その成功はホテルゲストをいかに「プレジャー」（ビジネス+プレジャー）に誘えるかにかかっています。

公式サイトは準備中

THE BVLGARI HOTEL PARIS
Paris, Île-de-France

ブルガリ・ホテル パリ
パリ / イル・ド・フランス地方

5つ星認定予定

日程未定(2020年から延期)

ここ数年で世界各地に展開して来たブルガリ・ホテルBulgari hotelがいよいよ2021年パリ初登場を果たします。スイートルームを含む客室数は76、スパや25メートルプール、バー、レストランを備え、パリらしい中庭も。シャンゼリゼChamps-Elysees、モンテーニュ通りAv. Montaigneとともに「黄金の三角形」を成すジョルジュ・サンク通りAvenue George-Vの30番地という最高の立地にお目見えするホテルのデザインを手がけたのは、イタリアの建築事務所アントニオ・チッテリオ パトリシア・ヴィールAntonio Citterio Patricia Vielとパリの著名な建築家ヴァロード&ピストルValode & Pistre。古典的なオスマン様式と現代的かつ合理的な正面壁の組み合わせにご注目。

www.bulgarihotels.com/en_US/paris

CHEVAL BLANC AT LA SAMARITAINE
Paris, Île-de-France

サマリテーヌデパートにホテルシュヴァル・ブラン
パリ / イル・ド・フランス地方

5つ星認定予定

日程は未定 (2020年から延期)

日本の建築家ユニット瀬島和世と西沢立衛の手によりパリの老舗デパート「ラ・サマリテーヌLa Samaritaine」が豪華ホテル「シュヴァル・ブランCheval Blanc」に生まれ変わりました。ホテルはセーヌ川の眺望を楽しめる72の客室・スイートルームの他、文化スペース、レストラン、ガーデンテラス、ショップを備えています。敷地全体の中央部には、1900年代初頭にフランツ・ジュルダンが仕上げた見事なガラス天井を戴くアール・ヌーヴォー様式のビルがあります。

www.chevalblanc.com/en/maison/paris/

**MAISON HELER BY STARCK
Curio Collection by Hilton
Metz, Grand-Est**

**スタルクの手によるメゾン・エレール
キュリオコレクション・バイ・ヒルトン
メッス / グラン・テスト地方**

日程未定(2020年から延期)

フランスのデザイナー、フィリップ・スタルクPhilippe Starckが初めてゼロから全てを手がけたホテルについては、2018年3月15日にカンヌの国際不動産見本市MIPIMで発表されていましたが、いよいよ2021年にメッスのポンピドゥーセンターメッス分館Centre Pompidou-Metzの近くにオープンします。キュリオ・バイ・ヒルトンCurio by Hiltonコレクションが世界に展開する50のホテルのひとつとして開業するこのホテル「メゾン・エレールMaison Heler」は、14フロアに119の客室とスイートルームを配し、屋上にはメッスのフォッシュ通りAvenue Fochにある有名なサロモン館Villa Salomonのレプリカを置くというユニークなデザイン。レストランとコージーなバーサロンも備えています。

<https://maison-heler.com/>